2025.10　**No. 354**

会報いわて

一般社団法人
岩手県臨床検査衛生検査技師会

人と向き合う！時代と向き合う！そして成長へ

～新時代の検査を考える～

日時：　令和７年 11 月 30 日（日）
会場：　前沢ふれあいセンター
担当：　南部地区臨床検査技師会
学会HP：　https://ganringi.com/
＊岩臨技 HP のトップページバナーとリンクしております

●教育講演
がんゲノム検査がもたらす個別医療の新時代
岩谷　岳 先生（岩手医科大学 医学部 臨床腫瘍学講座 特任教授）

●公開講演
人生の幸せとは？　～生（逝）き方を考える～
川村　秀司　先生（岩手県立江刺病院　院長）

●一般演題　８題

●ランチョンセミナー
臨床検査 DX と AI 技術が臨床検査技師に与えるインパクト
～臨床検査技師に必要なモノ～（仮）
小松 弘幸　氏（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社　ビジネスイノベーション本部

令和７年９月 15 日（月）より参加登録を開始しています。
本学会が会員の皆さまにとって有意義な学びの場となりますよう、充実した内容で準備を進めております。多数のご参加を心よりお待ちしております。

あっぴリレーマラソン参加報告

岩手医科大学附属病院　藤田　光

９月 14 日に開催されたあっぴリレーマラソンに初めて参加させていただきました。職場の同僚にとても楽しいイベントがあるので参加しませんかと誘われたのがきっかけです。１周 2km のコースをチームメンバーで襷をつなぎながら 21 周走り、制限時間内に 42.195ｋｍ走りきるというもので、イベント好きな私は好奇心から参加してみることにしました。

当日、そこには序盤とばしたことを後悔しながらひぃひぃ走る藤田氏の姿が・・・。体力をつかった後に登り坂はきつい！コースは序盤下り坂で、後半は下った分だけ登り坂となる走者泣かせのコースだったのです。しかし、メンバーの声援や、襷をつながなくてはという使命感、盛り上がる大会の雰囲気で、なんとか無事２周を走り切ることができました。最後の１周はゴール前をメンバー全員で走ります。皆でゴールテープを切った瞬間は達成感でいっぱいになりました。

また、公益事業の一環である大腸がん予防啓発活動として、トイレットペーパーを周りの参加チームへ配布しました。珍しい試みに興味を持っていただき、十分な PR 活動ができたと思います。

走り終えた後は１日の活動を労う BBQ が待っていました。美味しいこと、美味しいこと。最後に大会でお世話になった方々に感謝申し上げます。皆さん、来年の秋は安比で一汗流しませんか。選手としてはもちろん、サポートメンバーとしてのご参加も歓迎しております。皆さんのご参加お待ちしております。

医療連携サービスマーク制度衛生検査所業務実地調査参加報告

医療関連サービスマーク制度衛生検査所業務実地調査に参加して

県立胆沢病院　菊池英岳

８月８日（金）、福島県いわき市の江東微研東北中央研究所に医療関連サービスマーク制度実地調査員として参加してきました。メンバーは秋田１名、岩手２名で、場所は移動がタイトなため前泊が可能ということで、仙台で前泊し偶然にも七夕や新幹線新型車両試運転も遭遇できました。作業の流れは、毎回同様チェックシートに基づき、聞き取り・書類の確認・現場確認を手分けしながら行いました。調査員 1 人に３人で対応してもらい、話が前後しても書類などが整備されていることでスムーズに対応して頂き、効率よく作業が出来ました。同じ検査技師でも検査センター勤務では、精度保証と同時に顧客（依頼先）を意識されていることを強く感じました。普段私たちは一連の業務の流れで外注検査を依頼提出していますが、検体の先には患者だけではなく昼夜問わず検査をしている同じ技師もいることを忘れてはいけないと感じました。移動の道中は事故から 10 年以上経過しましたが、２年前と変わらず、作付けされていない田んぼが増え、雑草や木が以前田んぼだったことを思わせないくらい成長しており、廃墟となった家にも草木が屋根以上に成長して覆い被さっており里山が消えていく様子がうかがえました。原発はクリーンでランニングコストが低コストと言われていますが、使用済核燃料処理が確立されていません。車に例えればエンジン開発だけが先走りし、ブレーキや排ガス規制開発が不十分状態で運用されたため、このような事故に至っていることを感じました。一旦事故が起きてしまえば現代の技術では、事故以前のような生活は出来なくなる怖さを知りました。

私は今回の調査で任期を終えますが、次回からは調査範囲が東北から北海道まで拡大します。北海道となるとこれまでのように日帰りは厳しくなります。しかしこういう機会を最大に活用して、見て聞いて感じることにより検査室だけでは知り得ることの出来ない知見が多々あります。アグレッシブに技師会活動をして、チーム医療の中でも存在感を高め、つながりを深めることが付加価値を高めチーム医療向上にもつながると感じました。１期２年でしたが、いろんな施設や人と触れ合うことが出来て、多くのことを知ることが出来、ありがとうございました。

日 臨 技 よ り お 知 ら せ ：

マッチング支援システムが整備されます！臨地実習指導者取得を目指しましょう

＜**実習施設と学生のマッチングを支援**＞日本臨床衛生検査技師会と日本臨床検査学教育協議会は臨地実習の受け入れ施設と、養成校の学生を結び付けるマッチング支援システムを整備します。養成校が実習受け入れ実績を登録し約 1300 カ所の実習施設をデータベース化して、養成校が各実習プログラムに合致する施設を検索できるようにし、学生受け入れ調整の効率化を図ります。

＜**何故必要なのか？**＞

新たな要請カリキュラムで「必ず実施させる行為」「必ず見学させる行為」「実施させることは望ましい行為」が規定され、臨床参加型実習として内容の充実、均質化が進んでいる。一方で従来よりも実習で求められる知識や能力が多様化し、施設・スケジュール・人数調整の負担増となっている。このため、厚生労働省や文部科学省がマッチング支援を要請していた。

＜**新たな進歩**＞

受け入れ希望施設も登録可能に
実習受け入れ実績のない病院等を登録する仕組みを導入します。希望施設からの受け入れ可能期間・可能人数・実施や見学可能な行為を提出してもらい、日臨教が代行入力を想定している。臨床検査技師の確保が難しい、過疎地や地方の病院には臨地実習を通じた入職促進策として機能させたい考えである。

システムは 2026 年 3 月からで、日臨技支部学会や JAMT マガジン等でも周知しますので詳細をご確認ください。

臨地実習指導者の詳細はこちら
https://www.jamt.or.jp/studysession/onsite/

岩 臨 技 よ り お 知 ら せ

「凝固検査パニック値に関するアンケート調査」へのご協力のお願い

北日本支部臨床血液部門より「凝固検査パニック値に関するアンケート調査」への協力依頼が届いております。
この調査は全施設が対象となります。
詳細につきましては、会員の皆さまへメールにてお知らせいたします。
ご協力のほどよろしくお願いいたします。
＜調査対象＞：日臨技北日本支部所属全施設
＜調査内容＞：凝固検査のパニック値を中心とした日常の検査体制や運用方法等
＜回答および提出方法＞：WEB アンケート（Google フォームを利用）
＜実施期間＞2025 年 12 月 2 日（火）～12 日（金）

ホームページで閲覧できます！！　７０周年記念誌

（一社）岩手県臨床検査技師会７０周年記念誌が
ホームページでも閲覧できるようになりました

※閲覧にはパスワードが必要となっています
パスワードは会員様にメールでお伝えしておりますので
ご確認の上、閲覧をお願いいたします

https://www.iwateamt.or.jp/wp/wp-content/themes/iamt/dist/pdf/2025/ganringi70th_PW.pdf

令和７年度(第 31 回)岩臨技精度管理調査のお知らせ

すでに会員の皆さまにメールでお知らせしておりますが、今年度も精度管理調査を行います。

申込期間：９月 29 日（月）～10 月 14 日（火）
参加費用：6,000 円（生理検査部門のみ申込される施設も含む）
試料発送：12 月２日（火）予定
回答期間：12 月２日（火）～12 月 12 日（金）
総括統計表、施設別報告書公開：2026 年１月 14 日（水）
調査結果報告会：2026 年２月７日（土）Web 開催

なお、来年度より昨今の物価高騰の影響による試料価格の上昇に伴い、参加費用の改定を予定しております。
ご理解・ご了承くださいますようお願い申し上げます。

★★お願い★★　　会員情報の更新忘れずに！！

現在、岩臨技の各種研修案内やお知らせ等はメール配信での連絡が主となっております
日臨技システムでの会員情報更新や施設連絡責任者の登録等、変更があった場合には忘れずに更新をお願いいたします

よろしくお願いします

研　修　会　情　報

★岩臨技　研修会情報★
https://www.iwateamt.or.jp/archives/event

【岩臨技　学術部】

●第 10 回　岩臨技学術部研修会（一般検査部門）●
テーマ：尿沈渣を見究める ―赤血球形態・上皮細胞編―
日時：2025 年 11 月 2 日（日）12:30～16:30
会場：岩手医科大学 矢巾キャンパス 西講義実習棟 4 階 4-B 実習室（西 402）
https://www.iwateamt.or.jp/event/3271

●第 11 回　岩臨技学術部研修会（移植検査部門）●
テーマ：血液型検査の手技を再確認
日時：2025 年 10 月 18 日（土）14:00～17:00
会場：岩手県立中央病院 第 1 会議室
https://www.iwateamt.or.jp/event/3274

●第 12 回　岩臨技学術部研修会（感染制御部門）●
テーマ：腸管感染症について学ぶ
日時：2025 年 11 月 22 日（土）14:00～15:40
会場：Web 開催（zoom を使用）
https://www.iwateamt.or.jp/event/3290

【タスク・シフト／シェア実技講習会】→ 定員となりました。
岩手県 007
日時：2025 年 11 月 23 日（日）
会場：いわて県民情報交流センター（アイーナ）
＊岩手県主催での開催はこれが最後となります。
＊2026 年度以降は、支部単位での開催となります（開催日、開催場所は未定）。
https://www.iwateamt.or.jp/archives/3244

【北日本支部研修会】
https://www.jamt.or.jp/studysession/area/branch/kitanihon/#000731

●生物化学分析部門研修会●
テーマ：臨床検査の『質』を高める～基礎・応用・運営・人材育成の視点から～
日時：2025 年 10 月 18 日（土）～10 月 19 日（日）
場所：コラッセふくしま
※ オンデマンド配信　2025 年 11 月 1 日（土）～11 月 30 日（日）
https://www.iwateamt.or.jp/event/3163

●臨床生理部門研修会●
テーマ：臨床検査に求められる検査力 ～波形解析から画像診断、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝまで～
日時：2025 年 10 月 25 日（土）～10 月 26 日（日）
場所：弘前大学医学部附属病院
※ オンデマンド配信　2025 年 11 月 10 日（月）～12 月 21 日（日）
https://www.iwateamt.or.jp/event/3195

●臨床検査総合部門●
テーマ：知っトク（得）？「コツ」を学べば実践が楽しくなる！！
～採血・タスクシフト・機器管理・人の管理を中心に～
日時：2025 年 11 月 1 日（土）～11 月 30 日（日）
場所：オンデマンド配信のみ
https://www.iwateamt.or.jp/event/3193

●輸血細胞治療部門●
テーマ：DAT 陽性時の対応
日時：2025 年 11 月 22 日（土）
場所：札幌医学技術福祉歯科専門学校
※ オンデマンド配信　2025 年 12 月 1 日（月）～12 月 31 日（水）
https://www.iwateamt.or.jp/event/3282

（　い　わ　て　）

【岩臨技後援】
第 21 回みちのく超音波研究会
日時：2025 年 10 月 25 日（土）13:30～16:30
＊後日オンデマンド配信 2025 年 11 月 14 日～28 日
会場：岩手県医師会館 3F 視聴覚室
https://www.iwateamt.or.jp/event/3223

★★★★★★★岩臨技 HP には他団体主催の研修会情報も掲載しています★★★★★★★

最新情報は岩臨技 HP、日臨技 HP をご覧ください。
岩臨技 HP　https://www.iwateamt.or.jp/archives/event
日臨技 HP　https://jamtjamtis.jamt.or.jp/Jamtis/EventPublic/Home.aspx

【北日本支部学会】

テーマ：基（もとい）～強く、そしてしなやかに～
日時：2025 年 11 月 15 日（土）～11 月 16 日（日）
場所：朱鷺メッセ新潟
https://www.niicon.jp/jamt-nj2025/

今後の学会・研修会一覧

10月	10月18日	移植	第11回	血液型検査について	現地	実技あり
	10月18日、19日	北日本支部		生物化学分析部門研修会（オンデマンド配信：11/1~11/30）	福島	
	10月25日、26日	北日本支部		臨床生理部門研修会（オンデマンド配信：11/10~12/21）	弘前	
	10月	生物化学		甲状腺について	Web	講義
11月	11月1日~31日	北日本支部		臨床検査総合部門研修会	オンデマンド	
	11月2日	一般	第10回	尿沈渣鑑別	現地	実技あり
	11月2日	岩臨技		検査と健康展	矢巾	
	11月15~16日	北日本支部		北日本支部学会	新潟	
	11月22日	感染	第12回	腸管感染症について学ぶ	Web	講義
	11月23日	岩臨技		タスクシフト実技講習	盛岡	
	11月30日	岩臨技		第28回岩手県医学検査学会	前沢	
	11~12月	血液		血液像の基本	現地	
	11~1月	血液		凝固検査	Web	講義
12月	12月12日	一般		尿路感染症について	Web	講義
	12月17日	遺伝子、生物化学		性感染症について	Web	講義
1月	1月15日	移植		交差適合試験について	Web	講義
	1月17日	生理		頸動脈エコー	ハイブリッド	実技あり
	1月22日	一般		髄液検査	Web	講義
2月	2月7日	学術部		精度管理調査報告会	Web	講義

【編集後記】

秋もめっきり深まり、新米がおいしい季節になりました。栗拾いやきのこ狩りに行きたいところですが、熊に遭遇したらと考えると怖じ気づいてしまい、結局産直に足が向かっています。　（ささき）

会報「いわて」第 354 号 2025.10

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会　　長　：　高橋　一博

事　務　局　：　下川　波歩

編集責任者　：　佐々木　貴美子

藤倉　由規

〒020-0885

岩手県盛岡市紺屋町 5-14 ギボーシプラザ 402 号

TEL：090-9325-6062